



## アプリケーション ユーザとエンド ユーザ

Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウおよび [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを使用すると、管理者は Cisco Unified Communications Manager のアプリケーション ユーザとエンド ユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保守できます。この章では、ユーザ情報を管理するために使用するオプションについて説明します。

アプリケーション ユーザを追加し、そのユーザのアプリケーション プロファイルを設定する手順の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[アプリケーション ユーザの設定](#)」を参照してください。

エンド ユーザ情報を管理および更新する手順については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[エンド ユーザの設定](#)」を参照してください。

この章の構成は、次のとおりです。

- 「[アプリケーション ユーザとエンド ユーザの設定チェックリストの管理](#)」 (P.20-1)
- 「[アプリケーション ユーザ](#)」 (P.20-2)
- 「[エンド ユーザ](#)」 (P.20-3)
- 「[クレデンシャルの管理](#)」 (P.20-4)
- 「[ユーザとアプリケーションのプロファイル](#)」 (P.20-5)
- 「[デバイスの関連付け](#)」 (P.20-5)
- 「[エンド ユーザ用の Cisco Unified Mobility](#)」 (P.20-7)
- 「[Cisco エクステンション モビリティ プロファイル](#)」 (P.20-7)
- 「[Cisco IP SoftPhone プロファイル](#)」 (P.20-8)
- 「[参考情報](#)」 (P.20-8)

### アプリケーション ユーザとエンド ユーザの設定チェックリストの管理

Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウおよび [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを使用すると、Cisco Unified Communications Manager のアプリケーション ユーザとエンド ユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保守できます。

表 20-1 は、アプリケーションユーザとエンドユーザの情報を管理するための、一般的な手順とガイドラインを示しています。詳細については、「アプリケーションユーザ」(P.20-2)、「エンドユーザ」(P.20-3)、および「参考情報」(P.20-8)を参照してください。

表 20-1 アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリスト

設定ステップ		関連した手順と項目
ステップ 1	アプリケーションユーザを検索します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの設定値」
ステップ 2	必要に応じて、アプリケーションユーザを追加します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザの設定値」
ステップ 3	アプリケーションユーザのクレデンシャルを管理します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「アプリケーションユーザのクレデンシャルの管理」
ステップ 4	エンドユーザを検索します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定値」
ステップ 5	必要に応じて、エンドユーザを追加します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定値」
ステップ 6	エンドユーザのアプリケーションプロファイルを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザのユーザ関連情報の設定」
ステップ 7	エンドユーザのクレデンシャルを管理します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザのクレデンシャルの管理」

## アプリケーションユーザ

アプリケーションユーザ設定を使用すると、Cisco Unified Communications Manager に関連付けられたアプリケーションユーザを更新できます。デフォルトでは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページには次のアプリケーションユーザが含まれます。

- CCMAAdministrator
- CCMSysUser
- CCMQRTSecureSysUser
- CCMQRTSysUser
- IPMASecureSysUser
- IPMASysUser
- WDSecureSysUser
- WDSysUser
- TabSyncSysUser
- CUCService

インストール時に、システム管理者のログインおよびパスワードを設定するように要求されます。デフォルトのアプリケーション ユーザおよびインストール時に作成する管理者ユーザを削除することはできませんが、これらのユーザのパスワードを変更したり、ユーザが制御するデバイスのリストを変更したりすることは可能です。



ヒント

インストール時に作成したパスワードは、紛失しないようにしてください。



(注)

Standard CCM Super Users グループに属する管理者ユーザは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページのナビゲーションメニューにあるすべての管理アプリケーション (Cisco Unified Communications Manager の管理ページ、Cisco Unified サービスアビリティ、および Cisco Unified Reporting) に対して、いずれかのアプリケーションにシングルサインオンすることによってアクセスできます。

Cisco Unified Communications Manager のインストール時に、デフォルトの管理者ユーザ名とパスワードを設定します。Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウで、管理者パスワードを変更することも、新しい管理者アカウントを設定することもできます。

Cisco Unified Communications Manager でアプリケーション ユーザ情報を設定するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [ユーザ管理] > [アプリケーション ユーザ (Application User)] メニュー オプションを使用します。



(注)

このユーザを Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用に設定するには、アプリケーション ユーザを Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定します。次に、Cisco Unity または Cisco Unity Connection の管理でユーザのその他の設定を行います。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[アプリケーション ユーザの設定](#)」を参照してください。

## エンド ユーザ

エンド ユーザを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加することも、社内 LDAP ディレクトリを使用することもできます。認証に社内ディレクトリを使用する場合、エンド ユーザは各自の LDAP ディレクトリ パスワードを使用します。管理者はこれらのパスワードを変更できません。ただし、エンド ユーザの PIN を設定および変更することはできます。



(注)

システムで LDAP 認証を使用している場合は、インストール直後にエンド ユーザのデフォルト クレデンシャルを設定する必要があります。設定しないと、ログインが失敗します。空の (ヌル) クレデンシャルはサポートされません。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[クレデンシャル ポリシーのデフォルトの割り当てと設定](#)」(P.85-3) を参照してください。

社内 LDAP サーバとの同期化が無効になっている場合だけ、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して新しいエンド ユーザを追加できます。同期化が無効になっている場合、新しいユーザを追加したり、既存のユーザの設定（ユーザ ID など）を変更したりできます。同期化が有効になっている場合、ユーザの追加、ユーザの削除、および既存のユーザ ID の変更はできません。ただし、既存のエンド ユーザの ID 以外の設定は、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで変更できます。

LDAP 同期化が有効かどうかを調べるには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [システム] > [LDAP] > [LDAP システム (LDAP System)] を選択します。[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスがオンになっている場合、同期化は有効になっています。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「LDAP システムの設定」を参照してください。

エンド ユーザ情報を設定するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ユーザ管理] > [エンドユーザ] を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンド ユーザの設定」を参照してください。

[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウを使用して、新しいユーザと新しい電話機を同時に追加できます。同じウィンドウを使用して、新しいエンド ユーザの電話番号およびライン アピアランスを関連付けることができます。[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウにアクセスするには、[ユーザ管理] > [ユーザ/電話の追加] を選択します。設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ユーザ/電話機の追加の設定」を参照してください。



(注)

[エンドユーザ、電話、DN、および LA の設定 (End User, Phone, DN, and LA Configuration)] ウィンドウでは、新しいエンド ユーザと新しい電話機の追加だけができます。既存のエンド ユーザまたは既存の電話機を入力することはできません。



(注)

このユーザを Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用に設定するには、エンド ユーザを Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定します。次に、Cisco Unity または Cisco Unity Connection の管理でユーザのその他の設定を行います。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンド ユーザの設定」と「ユーザ/電話機の追加の設定」を参照してください。

## クレデンシャルの管理

アプリケーション ユーザまたはエンド ユーザを設定するときに、ユーザの設定ウィンドウでログイン クレデンシャル（パスワードまたは PIN）を追加または変更できます。

ユーザがデータベースに追加された後は、これらのクレデンシャルを [クレデンシャル設定 (Credential Configuration for)] ウィンドウで管理できます。このウィンドウにアクセスするには、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウまたは [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [クレデンシャルの編集 (Edit Credential)] ボタンを使用します。たとえば、ユーザによるパスワードの変更を禁止することや、次のログインでパスワードを変更するようにユーザに要求することができます。

また、ロックアウト イベントを表示して、ユーザのパスワードまたは PIN のロックアウトをリセットすることもできます。管理者がこのユーザに割り当てたクレデンシャル ポリシーに従って、認証イベントはこのウィンドウ内で更新されます。

[クレデンシャル設定 (Credential Configuration for)] ウィンドウには、ユーザのクレデンシャル ポリシーの割り当てを変更するためのオプションもあります。クレデンシャル ポリシーの詳細については、「[クレデンシャル ポリシー](#)」 (P.21-1) を参照してください。

個々のユーザのクレデンシャルを管理するには、『*Cisco Unified Communications Manager* アドミニストレーションガイド』の「[アプリケーション ユーザのクレデンシャルの管理](#)」と「[エンド ユーザのクレデンシャルの管理](#)」を参照してください。

## ユーザとアプリケーションのプロファイル

新しいアプリケーション ユーザまたはエンド ユーザを追加した後に、[エンドユーザ CAPF プロファイル (End User CAPF Profile)] または [アプリケーションユーザ CAPF プロファイル (Application User CAPF Profile)] メニュー オプションを使用して CAPF プロファイルを割り当てることができます。Cisco Unified Communications Manager は、CAPF サーバからダウンロードされるアプリケーション ユーザまたはエンド ユーザの証明書を CAPF プロファイルを使用して認証します。JTAPI/TSP または CTI アプリケーションは、この証明書を使用して Cisco CTIManager とのセキュリティ保護された接続を確立します。

プロファイルを割り当てた後は、割り当てたプロファイルがユーザの設定ウィンドウの [CAPF 情報 (CAPF Information)] ペインに表示され、設定を更新することができます。CAPF プロファイルの概要については、『*Cisco Unified Communications Manager* アドミニストレーションガイド』の「[アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの設定](#)」の項と「[エンドユーザ CAPF プロファイルの設定](#)」の項を参照してください。CAPF プロファイルの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager* セキュリティガイド』を参照してください。

新しいエンド ユーザを追加した後は、[エクステンションモビリティ (Extension Mobility)] ペインのオプションを使用して、エクステンションモビリティ プロファイルを設定できます。これらのプロファイルを使用することで、各エンド ユーザは Cisco エクステンションモビリティの個別設定ができます。エクステンションモビリティ プロファイルの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager* 機能およびサービスガイド』の「[Cisco エクステンションモビリティ](#)」の章を参照してください。

エンドユーザのアプリケーションプロファイルの設定方法については、『*Cisco Unified Communications Manager* アドミニストレーションガイド』の「[エンドユーザのユーザ関連情報の設定](#)」の項を参照してください。

## デバイスの関連付け

デバイスをアプリケーション ユーザまたはエンド ユーザに関連付けると、そのユーザは指定されたデバイスを制御できるようになります。アプリケーション ユーザとエンド ユーザは、電話機など一部のデバイスを制御できます。アプリケーション ユーザまたはエンド ユーザが電話機の制御権を持つ場合、その電話機の特定の設定（たとえば、スピードダイヤルや自動転送）をコントロールできます。デバイスとユーザの関連付けの詳細については、次のトピックを参照してください。

- 「[アプリケーション ユーザのデバイスの関連付け](#)」 (P.20-6)
- 「[エンドユーザのデバイスの関連付け](#)」 (P.20-6)

## アプリケーション ユーザのデバイスの関連付け

デバイスを既存のアプリケーション ユーザに関連付けるには、[アプリケーション ユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [デバイス情報 (Device Information)] 部分を使用します。[使用可能なデバイス (Available Devices)] ペインに、アプリケーション ユーザへの関連付けに使用できるデバイスのリストが表示されます。[使用可能なデバイス (Available Devices)] ペインでは、デバイスがデバイス名順に表示されます。アプリケーション ユーザに関連付ける追加デバイスを検索するには、[別の電話を検索 (Find more Phones)]、[別のルートポイントを検索 (Find more Route Points)]、[別のパイロットポイントを検索 (Find more Pilot Points)] の各ボタンを使用します。それぞれのボタンを押すとポップアップ ウィンドウが開き、そこにデバイスの名前、説明、またはその他のパラメータの全部または一部に基づいた検索条件を入力することにより、デバイスのリストを限定できます。使用可能なデバイスのリストを特定の選択項目に限定するには、次の方法で、検索する条件を入力してください。

- デバイスの名前、説明、電話番号など、検索パラメータを選択します。
- [が次の文字列で始まる] などの比較演算子を選択します。
- 検索テキストを入力します。

たとえば、「5」で始まるすべての内線番号をリストするには、[電話番号 (Directory Number)]、[が次の文字列で始まる] を選択した後、テキスト ボックスに **5** と入力します。

デバイスを表示するための検索条件を指定すると、その条件と一致する使用可能なすべてのデバイスが [検索結果 (Search Results)] に表示されます。ウィンドウの下部にあるボタンを使用すると、リスト内を移動できます。

そのデバイスの隣にあるチェックボックスをオンにすると、そのアプリケーション ユーザに 1 つ以上のデバイスを関連付けることができます。1 つのデバイスに複数の内線番号が関連付けられている場合、各回線の内線番号がリストに表示されます。1 つの回線の内線番号を選択するだけで、そのデバイスに関連付けられているすべての回線が選択されます。

デバイスをアプリケーション ユーザに割り当てる方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「[アプリケーション ユーザとデバイスとの関連付け](#)」を参照してください。

## エンド ユーザのデバイスの関連付け

デバイスを既存のエンド ユーザに関連付けるには、[エンド ユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [デバイスの割り当て (Device Associations)] 部分を使用します。[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに、すでにエンド ユーザに関連付けられているデバイスのリストが表示されます。[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインでは、デバイスがデバイス名順に示されます。エンド ユーザに関連付ける追加デバイスを検索するには、[デバイスの割り当て] ボタンを使用します。このボタンを押すと [ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが開き、そこにデバイスの名前または説明の全部または一部に基づいた検索条件を入力することにより、デバイスのリストを限定できます。使用可能なデバイスのリストを特定の選択項目に限定するには、次の方法で、検索する条件を入力してください。

- デバイスの名前や説明など、検索パラメータを選択します。
- [が次の文字列で始まる] などの比較演算子を選択します。
- 検索テキストを入力します。

デバイスを表示するための検索条件を指定すると、その条件と一致する使用可能なすべてのデバイスが [ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウの [デバイスの割り当て (該当のエンド ユーザ) (Device association for (this end user))] 部分に表示されます。ウィンドウの下部にあるボタンを使用すると、リスト内を移動できます。

そのデバイスの隣にあるチェックボックスをオンにすると、そのエンド ユーザに 1 つ以上のデバイスを関連付けることができます。1 つのデバイスに複数の内線番号が関連付けられている場合、各回線の内線番号がリストに表示されます。1 つの回線の内線番号を選択するだけで、そのデバイスに関連付けられているすべての回線が選択されます。

デバイスをエンド ユーザに関連付ける詳しい手順については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[エンド ユーザとデバイスとの関連付け](#)」を参照してください。

## エンド ユーザ用の Cisco Unified Mobility

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、ユーザに対してモバイル コネクトとモバイル コネクト アクセスを使用可能にできます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [モビリティの有効化 (Enable Mobility)] チェックボックスをオンにすると、モバイル コネクトのデバイス ライセンス ユニットの消費するライセンシングに対するトリガーが発生し、ユーザに Cisco Unified Mobility 専用のデバイスを割り当てると、Cisco Unified Mobility 用に消費されるデバイス ライセンス ユニットの数が制御されます。ライセンシングの機能と Cisco Unified Mobility の連携の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「[Cisco Unified Mobility のライセンス](#)」、および『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[エンド ユーザのパスワードの変更](#)」を参照してください。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウでは、携帯電話からデスクの電話機に転送されたコールをユーザがピックアップするまでの最大許容時間も設定できます。同様に、ユーザがデスクの電話機からコールを転送できる電話機の最大数も設定できます。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウには、エンド ユーザに対して設定されているリモート接続先プロファイルが一覧表示されます。リモート接続先プロファイルの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「[エンド ユーザのパスワードの変更](#)」および『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「[Cisco Unified Mobility](#)」を参照してください。

## Cisco エクステンション モビリティ プロファイル

Cisco Unified IP Phone を一時的にユーザの電話機として設定するには、Cisco エクステンション モビリティを使用します。ユーザがある電話機にログインすると、ユーザのエクステンション モビリティ プロファイル (回線番号やスピードダイヤル番号など) がその電話機に常駐します。この機能は、電話機がユーザに恒常的に割り当てられていない環境で主に使用されます。

ユーザ デバイス プロファイルおよびデバイス プロファイル デフォルトは、Cisco エクステンション モビリティ機能をサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルには、次の情報があります。

- デバイス プロファイル情報：デバイス タイプ、ユーザ デバイス プロファイル名、説明、ユーザ保留オーディオ ソース、およびユーザ ロケール
- 電話ボタン情報：デバイス タイプに対応する電話ボタン テンプレート
- ソフトキー テンプレート情報：使用可能なソフトキー テンプレートのリスト
- 拡張モジュール情報：Cisco Unified IP Phone 追加モジュール (Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールなど)
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報：MLPP ドメイン、通知、および優先処理の設定
- ログアウト デフォルト プロファイル情報：ログイン ユーザ ID

ユーザの認証は、認証方式で行われます。ワークフロー エンジン は、HTTP post 要求を介して XML ストリングをログイン サービスに送信します。ストリングは次の項目で構成されます。

- ログイン アプリケーションのユーザ名とパスワード
- ユーザがプロファイルを常駐させる先のデバイスの MAC アドレスに基づいたデバイス名

ユーザのデバイスに、ダイアログ プロンプトが表示されます。

Cisco エクステンション モビリティの詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』の「[Cisco エクステンション モビリティ](#)」を参照してください。

## Cisco IP SoftPhone プロファイル

デバイス（回線）を Cisco IP SoftPhone としてユーザに関連付けることができます。この機能により、ユーザはデスクトップ PC を使用して電話をかけた受けたりすることができ、また IP Phone を制御できます。

Cisco IP SoftPhone の詳細については、『*Cisco IP SoftPhone Administrator Guide*』を参照してください。

## 参考情報

### 関連項目

- 「[アプリケーション ユーザとエンド ユーザの設定チェックリストの管理](#)」 (P.20-1)
- 「[アプリケーション ユーザ](#)」 (P.20-2)
- 「[エンド ユーザ](#)」 (P.20-3)
- 「[クレデンシャルの管理](#)」 (P.20-4)
- 「[ユーザとアプリケーションのプロファイル](#)」 (P.20-5)
- 「[デバイスの関連付け](#)」 (P.20-5)
- 「[エンド ユーザ用の Cisco Unified Mobility](#)」 (P.20-7)
- 「[Cisco エクステンション モビリティ プロファイル](#)」 (P.20-7)
- 「[Cisco IP SoftPhone プロファイル](#)」 (P.20-8)
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[アプリケーション ユーザの設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[エンド ユーザの設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[ユーザ/電話機の追加の設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[Cisco Unified IP Phone の設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[クレデンシャル ポリシーの設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[クレデンシャル ポリシーのデフォルトの設定](#)」
- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の「[LDAP システムの設定](#)」



- 「Cisco Unity メッセージングの連動」(P.31-1)
- 「Cisco エクステンション モビリティ」

**参考資料**

- 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』
- 『*Cisco IP SoftPhone Administrator Guide*』
- 『*Cisco IP SoftPhone User Guide*』
- 『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』
- Cisco Unified IP Phone のユーザ マニュアルとリリース ノート (全モデル)

